

昭和45年12月11日三重生まれ千葉育ち。東京在住。習志野高校を卒業して習志野商工会議所に勤務後、オーストラリア・メルボルンに留学。Northern Melbourne Institute of TAFE (Illustration of Diploma) 卒業後、フリーのイラストレーターとなり、(株)味の素広報誌のイラストをはじめ企業キャラクター等も多数手がける。著書は、「プロペラちどり/フレール館」「ザキはん/扶桑社」「くるとん ジェットイルカとほしりょこう/保育社」「ちよんまげ課長/主婦と生活社」、「Moley(モーリー)/ワニブックス」。一般社団法人ファブデザインアソシエーション・プロデューサー。船橋市文化活動普及事業アーティストバンク登録講師。2015年、ポローニヤ国際絵本原画展入選。

絵本の構想としては、「湯原温泉」、「谷津干潟」と、地域を元気にさせるような作品が続いているので、全国のいろいろな地域の絵本を作って日本を元気にできたらいいな、と思っています。これは習志野商工会議所で11年働いていたときに「地域の活性化」についてたくさん考えて仕事をしてきたことが活かされていると思っています。**「プロペラちどり」の企画から出版まで** 2017年2月、前作の「ザキはん」(扶桑社)の寄贈で習志野市を訪問しました。そのときに宮本泰介市長が「谷津干潟は、

世界中の鳥の空港のようになっていく魅力的な場所なのでぜひ絵本を作ってほしい」と雑談のなかでおっしゃいました。そこから谷津干潟を何度も訪れ取材し、アイデアを考え、フレール館に自分で企画を持ち込みました。描いている最中は作品のことで悩んで眠れない日々もありましたが、習志野市役所広報課や谷津干潟自然観察センターの皆様にもご協力をいただきながら製作をすすめ、1年くらいかけてなんとか完成して出版することができました。**この一冊に込めた思い** 自分の大好きな谷津干潟をもっとたくさんの人に知ってもらい、そしてこの素晴らしい自然をいつまでも大切にしていきたいと子どもたちに思ってもらいたいという気持ちが強いです。「プロペラちどり」の主人公は、シベリアに住むミーシャという少年です。自分で作った鳥型飛行機「プロペラちどり」で、メダイチドリ5羽と一緒に日本との「とりのレストラン・谷津干潟」にやっ



プロペラちどりに乗ったミーシャはメダイチドリたちとシベリアから谷津干潟を目指します

てきます。ドキドキわくわくの冒険や、いろいろな出会い、楽しい生き物たち、楽しい歌、友情などなど…いろいろな要素が詰まった作品です。ぜひ親子で楽しんで読んでいただきたい。そして絵本を片手に本物の谷津干潟にも足を運んで絵本に登場する場面や生き物たちにふれてもらいたいと思います。

生き方の素敵なあの人、今、注目のこの人に
「節度ある好奇心」をもって徹底インタビュー



根ほい 葉ほい

谷津干潟の絵本『プロペラちどり』を出版

習志野高校・習志野商工会議所・オーストラリア留学
絵本作家 U-suke(ゆうすけ)さん

どうして絵本作家に？

小さい頃から絵を描くのが好きで、物語を考えたりキャラクターを作ったりすることも好きだったからかもしれない。言葉や文化の違う国の人でも楽しめませし、子どもでも大人でも楽しめる自由な世界に魅力を感じています。どうしてオーストラリアへ？

昔、習志野中央ロータリーアクトクラブ(18歳〜30歳・ロータリークラブの青年団体)に所属していました。そのときにオーストラリアの交換ホームステイを何度か経験したことで友人ができて、オーストラリアが好きになったことがきっかけです。絵に国境はないので、いつか海外の仕事もできるようなクリエイターになりたいと思い、英語とアートを勉強するために留学しました。

どんな子どもでしたか？

お調子者でおつちよこちよいでしたね。小学生の頃は自作の紙芝居を作ってみるに見せたり、友だちと漫画を描いたりしていました。中学・高校はバスケットで、

一生懸命やってみました。

尊敬する人は？

手塚治虫さんです。手塚漫画を5歳のときに読んで衝撃を受けたので…。

現在の活動内容は？

イラストレーターとしては、(株)味の素の広報誌をはじめ、企業のキャラクター等のイラストの仕事を中心にしているほか、拓殖大学工学部デザイン学科との共同研究プロジェクトを行う一般社団法人ファブデザインアソシエーションの非常勤のプロデューサーの仕事もしています。そこでは、子どもたちのものづくりや地域活性化支援など。また最近講師の仕事も増えてきて、この夏は、千葉、岡山、東京、愛知といろいろな場所で「読み聞かせ」やサイン会、ワークショップなどのイベントが続いています。子どもたちの反応を間近に感じられるのもとても楽しいです。

これからの夢

何度か経験していますが、もつと色々な国での仕事や出版をしたいですね。